

大規模改修工事による休館中の博物館活動について

1 展示及び調査研究

館内の展示活動ができないため、仙台国際センターやせんだいメディアテークにおいて複製資料の展示等を行うと共に、福岡市博物館（令和4年10～11月）と宮城県美術館（令和5年4月～6月予定）において、当館資料の出張展示を行う予定であるほか、再開館後の特別展等の企画・出品交渉及び常設展示室の企画・展示準備を行います。

また、以上の展示を含む博物館活動の根幹をなす調査研究を行います。

2 資料の保管

大部分の資料は館内の収蔵庫で保管されていますが、収蔵庫の改修期間、館内の温湿度を管理できるエリアに移すため、その都度、学芸員が資料の整理・点検・梱包・移動及び管理を行うことで、環境変化に対応した資料の適切な保管に努めます。

3 教育普及

（1）講座

休館中も引き続き他施設で講座を実施しますが、新たに、博物館巡回講座や夏休み
工作教室の出張講座といった市民センター等との共催事業を実施します。

（2）出前授業・教員向け研修

職員が出張して行います。休館中は出前授業の回数を増やします。

（3）出前イベント・ワークショップ

他機関との連携及び、各種団体からの依頼により行います。

（4）情報発信

博物館活動を紹介する動画制作と配信、「ポケット学芸員」アプリによる博物館資料の紹介のほか、ホームページやツイッター及び「博物館だより」等で休館中における博物館の活動内容等の情報発信を行います。また、博物館の60年の歩みを振り返る『60年史』を編集・発行します。

4 仙台市史活用推進事業

休館中も引き続き市史講座や他機関との連携講座、市史関連収集資料の調査及び整理・撮影、震災レスキューのパネル展示等を行います。これらの通常業務に加えて、点字版『よくわかる伊達政宗』を編集・発行します。

5 ボランティア活動及び友の会活動の支援

休館中も、解説ボランティア（三の丸会）や、博物館友の会の自主的な活動の支援を続けていきます。具体的には、会員向けの研修会や講座等を企画しています。